

平成25年度 行政評価 施策カルテ

施策名	3 自転車のまち宇都宮の推進
-----	----------------

施策主管課	交通政策課	総合計画記載頁	135ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	V 都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために	政策名 (基本施策名)	22 円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立する	政策の達成目標 (基本施策目標)	総合的な交通体系の構築により、公共交通や自動車、自転車などのあらゆる交通手段が相互に連携した、円滑で利便性が高く、安全で、ひとや環境にもやさしい、誰もが利用しやすい交通環境がつけられています。
------	----------------------------------	----------------	---------------------------	---------------------	--

2 施策の取組状況

施策目標	自転車が安全で快適に、楽しく利用できる環境が整備されています。
------	---------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24 (H23.3現在)	H25	H26	H27	H28	H29	評価		
	指標1	自転車走行空間の整備延長(km)	単年度目標値	16.9	18.2	19.5	25.4	28.2			30.9	A	指標2	自転車走行空間の整備延長(m)	中核市平均	12,689.3					
	現状値	実績値	16.9								実績値			6,640.0							
	目標値(H29)	単年度の達成度	100.0%								中核市での本市の順位			16位/41市中							
① 施策指標		単年度目標値								③ 市民意識調査結果		中核市平均									
		現状値	実績値										実績値								
		目標値(H29)	単年度の達成度											中核市での本市の順位							
		単年度目標値									施策の満足度(%)	調査結果	H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価		
		現状値	実績値									目標値(H29)	41.2%								
		目標値(H29)	単年度の達成度									前年度からの増減									

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{単年度目標値}} \times 100 (\%)$
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{単年度目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$

※評価の考え方

施策指標	A: 達成度90%以上	B: 達成度70%~90%未満	C: 達成度70%未満
中核市等との水準比較(中核市での本市の順位)	A: 上位1/3(1~14位)	B: 中位(15~28位)	C: 下位1/3(29位以下)
市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上(2%超)	B: 前年度同水準(±2%以内)	C: 前年度より低下(-2%未満)

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策指標	交通管理者と協議を行いながら、国や県とも連携して、自転車専用通行帯等の道路状況に応じた自転車走行空間の整備を着実に推進している。また、自転車の利用・活用の促進に向けて、サイクルステーションの運営や「自転車の駅」の設置などを一体的に行っている。	市民満足度		進捗の状況	順調
------	---	-------	--	-------	----

3 施策を構成する事業の状況

No.	事業名	戦略P・主要事業	事業が属する総合計画の構成事業名	事業内容		開始年度	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物（誰・何に）	取組（何を）		
1	自転車道整備事業	○	自転車走行空間の整備	市民、自転車利用者	安全で快適な自転車走行空間の整備	H17	自転車走行空間の整備と併せて、自転車の走行ルール・マナーを徹底していく必要があることから、優先整備路線においてより安全性の高い整備を推進するとともに、自転車走行空間の適正利用や整備箇所のPRなどを実施していく。
2	自転車のまち宇都宮の推進	○	サイクルアンドライド用駐輪場の整備、休憩スポットの設置、レンタサイクルの充実、サイクルステーションの充実	自転車利用者	「自転車のまち推進計画」に基づく施策事業の推進（宮サイクルステーションの運営、「自転車の駅」の設置、自転車マップの作成等）	H15	「自転車のまち推進計画」に位置付けた「宮サイクルステーションの運営」や「自転車の駅」などの様々な施策事業について、関係機関や民間企業などと連携・協力しながら、効率的、効果的な事業展開を図るとともに、さらなる推進に向けて、計画の中間評価、適切な見直しを行っていく。
3	交通安全教育		自転車利用者への交通安全教育の推進	幼児、児童、生徒、成人、高齢者	・交通安全教室の開催 ・スクエアドストレイ方式による交通安全教室の開催	S49	自転車の交通ルール遵守とマナー向上が図られるよう地域、学校、警察等と連携した街頭指導などの取組を拡充していく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	<p>◆自転車走行空間の整備については、「自転車のまち推進計画」で優先整備路線に選定している路線において、道路状況に応じた整備を推進していくとともに、交差点部や狭隘道路、自転車歩行者道などにおけるより安全性の高い整備手法を確立していく必要がある。また、自転車の走行ルール・マナー遵守に向けた取組を合わせて推進していく必要がある。</p> <p>◆関係団体や民間企業等と連携しながら、「宮サイクルステーション」の提供サービスの充実や「自転車の駅」の増設などに、引き続き取り組んでいくとともに、市民の自転車の利用・活用をさらに促進していくための新たな取組を検討していく必要がある。</p>
方向性	<p>〈施策全般〉 ひとや環境にやさしい自転車を活用したまちづくりをさらに進めていくため、「自転車のまち推進計画」に基づきながら、自転車走行空間の整備と自転車の走行ルール・マナーの遵守に向けた取組を一体的に実施していくとともに、モビリティセンター（サイクルステーション）の整備や「自転車の駅」の設置に取り組むなど、重点事業を中心に推進していく。また、「推進計画」の中間評価、適切な見直しを行いながら、新たなサイクリングロードの整備に向けた調査を行うなど、自転車のまち宇都宮の推進に向けた新たな事業展開を検討していく。</p> <p>〈主要事業〉 ◆自転車走行空間の整備 国が策定した「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」やいちよう通りにおける走行実験の検証結果などを踏まえながら、優先整備路線において、道路状況に応じた、より安全性の高い整備を推進していく。 ◆サイクルステーションの充実 「宮サイクルステーション」に指定管理者制度を導入（平成25年9月予定）し、民間のノウハウを活用しながら、さらなる機能やサービスの向上を図っていく。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>